

2015年度第1四半期（2015年1月～3月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 わ せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2015年4月28日（火曜日）

2. 業 績

	第1四半期（1月～3月の3ヶ月間）			累計額（1月～3月の3ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,226	百万ドル 5,640	% -7.3	百万ドル 5,226	百万ドル 5,640	% -7.3
税引前当期純利益	百万ドル 1,013	百万ドル 1,104	% -8.3	百万ドル 1,013	百万ドル 1,104	% -8.3
当期純利益	百万ドル 663	百万ドル 732	% -9.4	百万ドル 663	百万ドル 732	% -9.4
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.52	ドル 1.61	% -5.6	ドル 1.52	ドル 1.61	% -5.6
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.51	ドル 1.60	% -5.6	ドル 1.51	ドル 1.60	% -5.6

配当金の推移		
	当年度（2015年度）	前年度（2014年度）
第1四半期	0.39 ドル	0.37 ドル
第2四半期		0.37
第3四半期		0.37
第4四半期		0.39
合計	0.39 ドル	1.50 ドル

（注）原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2015 年度第 1 四半期の業績を発表

2015 年度第 2 四半期現金配当を宣言

2015 年度の1株当たり事業利益成長目標を確認

ジョージア州、コロンバス - 2015 年 4 月 28 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2015 年度第 1 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の 56 億ドルから 7.3%減少し、52 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 7 億 3,200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.60 ドル)から 6 億 6,300 万ドル(同 1.51 ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には 3,600 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.08 ドル)の税引後資産運用実現損(実現益とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、300 万ドル(希薄化後 1 株当たりほぼ 0 ドル)の税引後資産運用実現損(実現益とのネット)が含まれていました。当四半期の有価証券取引による税引後資産運用実現益は、実現損とのネットで 4,000 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.10 ドル)でした。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで 900 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.02 ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現損(実現益とのネット)は 3,400 万ドル

(希薄化後 1 株当たり 0.08ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの 1,200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.03ドル)の損が含まれています。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクを管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、

ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の102.70円から13.8%円安ドル高の119.16円となりました。当四半期の事業利益は、前年同期の7億7,400万ドルから、6億7,800万ドルとなりました。当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、前年同期に比べて8.9%減少し、1.54ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.13ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、1.2%減少しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2014年12月31日現在の1,073億ドルから2015年3月31日現在では1,087億ドルとなりました。

当四半期、当社は6億ドル相当(980万株)の自己株式を取得しました。2015年3月31日現在、当社の自己株式取得承認枠は、1,970万株となっています。

株主持分は、2014年12月31日現在が183億ドル(1株当たり41.47ドル)であったのに対し、2015年3月31日現在では186億ドル(1株当たり42.97ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現損益(ネット)は、2014年12月31日現在が47億ドルの益であったのに対して、2015年3月31日現在では50億ドルの益でした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で14.3%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で19.8%でした。また、円安ドル高の影響を除くと、21.5%でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、保険料収入は0.2%増加しました。投資収益(ネット)は7.2%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約48%がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上

げられました。前年同期は投資収益の 45%がドル建てでした。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期に比べて 1.3%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の 22.0%から 22.1%へと上昇しました。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースで 1.8%増加しましたが、為替変動の影響を除けば、2.9%の減少でした。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、著しい円安ドル高の影響により、押し下げられました。当四半期の保険料収入は 13.5%減少し、31 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 7.5%減少し、6 億 1,300 万ドルとなりました。収益合計は 12.6%減少し、37 億ドルに、税引前事業利益は 12.2%減少し、8 億 1,900 万ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は 2.2%減の 270 億円(2 億 2,600 万ドル)となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、21.3%増加しました。当四半期の WAYS と学資保険を含む第一分野商品の販売は、主として第三分野商品の販売への継続的な集中を反映し、予想通り減少し、29.8%減となりました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は 3.5%増加し、13 億ドルに、投資収益(ネット)は 3.3%増加して 1 億 6,600 万ドルとなりました。収益合計は 3.6%増の 15 億ドルとなりました。税引前事業利益率は、前年同期の 20.8%から 18.9%となりました。当四半期の税引前事業利益は 6.1%減の 2 億 8,500 万ドルとなりました。この減益は、主として販売体制の改編に係る費用を反映したものです。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は 0.5%減少し、3 億 1,600 万ドルとなりました。また、継続率は前年同期の 76.3%から 76.7%となりました。

現金配当

取締役会は、2015 年度第 2 四半期支払いの現金配当を宣言し、これを1株当たり

0.39ドルとしました。この現金配当は、2015年5月20日の営業終了時点の登録株主に対し、2015年6月1日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当社の最大の利益貢献部門である日本社は、当四半期、円ベースでは強力な財務業績と販売実績を挙げました。日本社の第三分野商品の販売は、21.3%増加し、2015年の当初9ヶ月間の平均の販売成長率予想である15%に向けて、大変良いスタートとなりました。第4四半期における第三分野商品の販売成長率については、困難な比較となるため、前年同期比大幅に減少するものとの見方に変更ありませんが、引き続き、第4四半期の実績を改善するための方策をとって行きます。」

「財務業績の観点では、米国社も第1四半期に良好な実績を挙げました。昨年第4四半期の決算説明電話会議で申し上げましたが、本年第1四半期の販売は、困難なものになると予想していました。しかしながら、すでにご説明をしたとおり、過去数ヶ月間、当社は米国市場における販売体制の大幅な改編を実行しており、この改編が、当社の組織に対して有益な影響を与えるものと引き続き確信しています。このような状況の下、米国社の本年の販売を3%から7%増加させるという目標に向け、引き続き注力して行きます。当社は常に、ブランド力と魅力的な商品ポートフォリオを活用して、変化を続ける医療環境の中で、全ての規模の企業の雇用者にアクセスできる販売網の拡充に向けて注力します。」

「当社は、ご契約者のために強力な自己資本比率を維持することに、引き続きコミットしています。本年3月31日に新たな再保険契約を締結したことにより、当社は2015年度の資本ポジションを改善し、日本社の責任準備金は約1,300億円減少しました。さらに本年4月1日付で、この再保険取引の90%がアフラック・インコーポレーテッドの子会社に再出再されました。このように、当社は強力な自己資本比率を維持できる

ものと期待しています。この資本力は、2015年暦年の米国への利益送金約2,000億円に向け、優れた財務ポジションに当社を置き、2015年に約13億ドルの自社株買いを実行する計画を強化するものと考えています。」

「改めて申し上げますが、2015年度の為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益成長目標は、2%増から7%増です。仮に第2四半期の期中平均円/ドル為替レートが1ドル120円から125円で推移した場合、第2四半期の希薄化後1株当たり利益は約1.46ドルから1.57ドルの間になるものと当社は見込んでいます。同様の為替レートを前提すると、通年の希薄化後1株当たり事業利益は約5.74ドルから6.15ドルの間になるものと見込んでいます。本年4月、当社は、連結ベースの資本ポジションを改善するため、社債の繰上償還を実行しました。その結果、2015年第2四半期には希薄化後1株当たり約0.34ドルの非事業ベースの繰上償還手数料の負担が発生しますが、ネットの金利負担の軽減により、2015年のその後の期間において希薄化後1株当たり事業利益は約0.07ドル増加します。困難な金融市場と著しく低い水準にある金利環境は、当社のキャッシュフローを魅力的な利回りで運用することを困難にしています。したがって、当社は、日本での第一分野商品の販売については非常に慎重な姿勢をとっており、このことによって、投資に向けることのできるキャッシュフローは減少します。常にそうしてきたことですが、当社は引き続き1株当たり利益目標達成のため、懸命に努力するとともに、ご契約者の皆様へのお約束をお守りして行く所存です。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60年近くにわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売No.1の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを1営業日で行うことができます。日本では、アフラックはがん保険・医療保険の最大手で、4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で5,000万人以上の方々に保

障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は 9 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2015 年、『フォーチュン』誌は当社を 17 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、14 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野のイノベーション部門で第 1 位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement) は、aflac.com 「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の様子を 2015 年 4 月 29 日 (水曜日) 午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2015年	2014年	増減率
収益合計	5,226	5,640	-7.3%
保険金給付金	2,952	3,220	-8.3%
新契約費及び事業費合計	1,261	1,316	-4.2%
税引前当期純利益	1,013	1,104	-8.3%
法人税等	350	372	
当期純利益	663	732	-9.4%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.52	1.61	-5.6%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.51	1.60	-5.6%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	437,306	454,731	-3.8%
希薄化後	439,927	457,699	-3.9%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.39	0.37	5.4%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

3月31日現在:

	2015年	2014年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	108,711	110,493	-1.6%
繰延新契約費	8,319	8,965	-7.2%
その他の資産	4,371	3,834	14.0%
資産合計	121,401	123,292	-1.5%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	85,564	92,890	-7.9%
社債等	6,282	4,913	27.9%
その他の負債	10,918	9,813	11.3%
株主持分	18,637	15,676	18.9%
負債および株主持分合計	121,401	123,292	-1.5%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	433,771	454,028	-4.5%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2015年	2014年	増減率
事業利益	678	774	-12.5%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	40	25	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-9	-6	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-34	-55	
その他及び非経常的(損)益	-12	-6	
当期純利益	663	732	-9.4%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.54	1.69	-8.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.10	0.05	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.02	-0.01	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.08	-0.12	
その他及び非経常的(損)益	-0.03	-0.01	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.51	1.60	-5.6%

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2015年3月31日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	-8.7%	1.5%
投資収益(ネット)	-5.4%	0.8%
保険金給付金および事業費合計	-7.1%	3.0%
事業利益	-12.5%	-5.0%
希薄化後1株当たり事業利益	-8.9%	-1.2%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2015年度1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2014年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$6.47 - \$6.77	5.0% - 9.9%	\$ 0.18
105.46*	\$6.29 - \$6.59	2.1% - 7.0%	\$ -
115	\$6.01 - \$6.31	-2.4% - 2.4%	\$ -0.28
125	\$5.77 - \$6.07	-6.3% - -1.5%	\$ -0.52
135	\$5.56 - \$5.86	-9.7% - -4.9%	\$ -0.73

*実際の2014年度の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・その他の金融機関の信用力の低下
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・不十分なリスク管理方針及び手続

- ・法律及び政府当局による規制の変化
- ・優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・患者のプライバシー及び情報セキュリティに対する制約の不順守
- ・訴訟の内容及び結果
- ・主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・保険業界における継続的な変化
- ・当社の評判に悪影響を及ぼす出来事
- ・年金及びその他退職給付プランに係る費用の増加
- ・内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces First Quarter Results,
Declares Second Quarter Cash Dividend,
Affirms 2015 Operating EPS Target**

COLUMBUS, Georgia – April 28, 2015 – Aflac Incorporated today reported its first quarter results.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, total revenues fell 7.3% to \$5.2 billion during the first quarter of 2015, compared with \$5.6 billion in the first quarter of 2014. Net earnings were \$663 million, or \$1.51 per diluted share, compared with \$732 million, or \$1.60 per share, a year ago.

Net earnings in the first quarter of 2015 included after-tax net realized investment losses of \$3 million, or nil per diluted share, compared with net after-tax losses of \$36 million, or \$.08 per diluted share, a year ago. After-tax realized investment gains net of losses from securities transactions in the quarter were \$40 million, or \$.10 per diluted share. Hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan on an after-tax basis, were \$9 million in the quarter, or \$.02 per diluted share. Realized after-tax net investment losses from other derivative and hedging activities in the quarter were \$34 million, or \$.08 per diluted share. In addition, net earnings included a loss of \$12 million, or \$.03 per diluted share, from other and nonrecurring items.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, but before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items. Aflac's derivative activities are primarily used to hedge foreign exchange and interest rate risk in the company's investment portfolio as well as manage foreign exchange risk in certain notes payable and forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions such as profit repatriation and the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency translation as a financial reporting issue rather than an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

The average yen/dollar exchange rate in the first quarter of 2015 was 119.16, or 13.8% weaker than the average rate of 102.70 in the first quarter of 2014. Operating earnings in the first quarter were \$678 million, compared with \$774 million in the first quarter of 2014. Operating earnings per diluted share in the quarter decreased by 8.9% from a year ago to \$1.54. The weaker yen/dollar exchange rate decreased

operating earnings per diluted share by \$.13 for the first quarter. Excluding the impact from the weaker yen, operating earnings per diluted share decreased 1.2%.

Total investments and cash at the end of March 2015 were \$108.7 billion, compared with \$107.3 billion at December 31, 2014.

In the first quarter, Aflac repurchased \$600 million, or 9.8 million shares, of its common stock. At the end of March, the company had 19.7 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$18.6 billion, or \$42.97 per share, at March 31, 2015, compared with \$18.3 billion, or \$41.47 per share, at December 31, 2014. Shareholders' equity at the end of the first quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$5.0 billion, compared with a net unrealized gain of \$4.7 billion at the end of December 2014. The annualized return on average shareholders' equity in the first quarter was 14.3%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, unrealized investment gains/losses, and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 19.8% for the first quarter of 2015, or 21.5%, excluding the impact of the yen.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income rose .2% in the first quarter. Net investment income increased 7.2%. Investment income growth was magnified by the weaker yen/dollar exchange rate because approximately 48% of Aflac Japan's first quarter investment income was dollar-denominated, compared with 45% a year ago. Total revenues were up 1.3% in the first quarter. The pretax operating profit margin increased in the first quarter to 22.1% from 22.0% in the prior year. Pretax operating earnings in yen increased 1.8% on a reported basis and decreased 2.9% on a currency-neutral basis.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the first quarter were suppressed as a result of the significantly weaker yen/dollar exchange rate. Premium income decreased 13.5% to \$3.1 billion in the first quarter. Net investment income was down 7.5% to \$613 million. Total revenues decreased 12.6% to \$3.7 billion. Pretax operating earnings declined 12.2% to \$819 million.

In the first quarter, total new annualized premium sales fell 2.2% to ¥27.0 billion, or \$226 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, increased 21.3% in the quarter. As expected, first sector sales, which include WAYS and child endowment, declined 29.8% in the quarter primarily reflecting the continued focus on the sale of third sector products.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 3.5% to \$1.3 billion in the first quarter. Net investment income was up 3.3% to \$166 million. Total revenues increased 3.6% to \$1.5 billion. The pretax operating profit margin was 18.9%, compared with 20.8% a year ago. Pretax operating earnings were \$285 million, a decrease of 6.1% for the quarter. The decline largely reflects the expenses that were attributable to the changes made to our sales organization.

Aflac U.S. total new annualized premium sales decreased .5% in the quarter to \$316 million. Additionally, persistency in the quarter was 76.7%, compared with 76.3% a year ago.

DIVIDEND

The board of directors declared the second quarter cash dividend. The second quarter dividend of \$.39 per share is payable on June 1, 2015, to shareholders of record at the close of business on May 20, 2015.

OUTLOOK

Commenting on the company's first quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated strong financial and sales results in yen

terms for the quarter. Sales of Aflac Japan's third sector products were up 21.3% in the quarter, which was a great start toward our expectation that third sector sales will average an increase of 15% for the first nine months of this year. While we still believe that the sales growth of third sector products will be down sharply in the fourth quarter relative to the prior year due to difficult comparisons, we will continue to look for ways to improve our fourth quarter results.

"From a financial perspective, Aflac U.S. also performed well in the first quarter. As I mentioned during the fourth quarter conference call, we expected first quarter sales would be challenging. However, as we've discussed, we made significant changes to our distribution system in the U.S. market over the last several months, and we still believe these changes will have a beneficial impact on our organization. As such, we remain focused on increasing Aflac U.S. sales 3% to 7% for the year. As always, we will work toward expanding our distribution capabilities to access employers of all sizes by seeking opportunities to leverage our brand strength and attractive product portfolio in the evolving health care environment.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders. We improved our capital position for 2015 by entering into a new reinsurance agreement on March 31, 2015, which released approximately ¥130 billion of Aflac Japan's regulatory reserves. Additionally, 90% of that transaction was retroceded to an Aflac Incorporated subsidiary effective April 1. As such, we expect our capital ratios will remain strong. We believe this capital strength puts us in an excellent position to repatriate about ¥200 billion to the United States for the calendar year 2015, which reinforces our plan to repurchase about \$1.3 billion of our common stock in 2015.

"I want to reiterate that our objective for 2015 is to increase operating earnings per diluted share 2% to 7% on a currency neutral basis. If the yen averages 120 to 125 to the dollar for the second quarter, we would expect earnings in the second quarter to be approximately \$1.46 to \$1.57 per diluted share. Using that same exchange rate assumption, we would expect full-year reported operating earnings to be about \$5.74 to \$6.15 per diluted share. In April, we executed a make-whole transaction to enhance our consolidated capital position. As a result of this transaction, we will incur a non-operating charge of approximately \$.34 in the second quarter of 2015. However, operating earnings per diluted share for the remainder of 2015 will benefit by approximately \$.07 due to a net reduction in interest expense. Challenging financial markets and significantly depressed interest rates make it difficult to invest cash flows at attractive yields. Therefore, we will remain very disciplined in selling first sector products in Japan, which will reduce investable cash flows. As always, we are working very hard to achieve our earnings-per-share objective while also delivering on our promise to policyholders."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For nearly six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leading provider of voluntary insurance at the work site. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, Aflac U.S. can receive, process, approve and disburse payment for eligible claims in one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures one in four households. Aflac individual and group insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For nine consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere magazine as one of the World's Most Ethical Companies. In 2015, Fortune magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 17th consecutive year. Also, in 2015, Fortune magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 14th time, ranking the company No. 1 in innovation for the insurance, life and health category. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Wednesday, April 29, 2015.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,226	\$ 5,640	(7.3)%
Benefits and claims	2,952	3,220	(8.3)
Total acquisition and operating expenses	1,261	1,316	(4.2)
Earnings before income taxes	1,013	1,104	(8.3)
Income taxes	350	372	
Net earnings	\$ 663	\$ 732	(9.4)%
Net earnings per share – basic	\$ 1.52	\$ 1.61	(5.6)%
Net earnings per share – diluted	1.51	1.60	(5.6)
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	437,306	454,731	(3.8)%
Diluted	439,927	457,699	(3.9)
Dividends paid per share	\$.39	\$.37	5.4 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET**(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)**

MARCH 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$108,711	\$ 110,493	(1.6)%
Deferred policy acquisition costs	8,319	8,965	(7.2)
Other assets	4,371	3,834	14.0
Total assets	\$121,401	\$ 123,292	(1.5)%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 85,564	\$ 92,890	(7.9)%
Notes payable	6,282	4,913	27.9
Other liabilities	10,918	9,813	11.3
Shareholders' equity	18,637	15,676	18.9
Total liabilities and shareholders' equity	\$121,401	\$ 123,292	(1.5)%
Shares outstanding at end of period (000)	433,771	454,028	(4.5)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 678	\$ 774	(12.5)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	40	25	
Hedge costs related to foreign currency investments	(9)	(6)	
Impact of other derivative/hedging activities	(34)	(55)	
Other and non-recurring income (loss)	(12)	(6)	
Net earnings	\$ 663	\$ 732	(9.4)%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.54	\$ 1.69	(8.9)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.10	.05	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.02)	(.01)	
Impact of other derivative/hedging activities	(.08)	(.12)	
Other and non-recurring income (loss)	(.03)	(.01)	
Net earnings per diluted share	\$ 1.51	\$ 1.60	(5.6)%

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31, 2015	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(8.7)%	1.5%
Net investment income	(5.4)	.8
Total benefits and expenses	(7.1)	3.0
Operating earnings	(12.5)	(5.0)
Operating earnings per diluted share	(8.9)	(1.2)

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2015 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2014</u>	<u>Yen Impact</u>
100	\$ 6.47 - 6.77	5.0 - 9.9%	\$.18
105.46*	6.29 - 6.59	2.1 - 7.0	-
115	6.01 - 6.31	(2.4) - 2.4	(.28)
125	5.77 - 6.07	(6.3) - (1.5)	(.52)
135	5.56 - 5.86	(9.7) - (4.9)	(.73)

*Actual 2014 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; concentration of business in Japan; decline in creditworthiness of other financial institutions; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; ineffective risk management policies and procedures; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; ongoing changes in our industry; events that damage our reputation; increased expenses for pension and other postretirement plans; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com
Media contact – Catherine Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com

###